

第3学年 技術・家庭科（技術分野）

教科のねらい

- ① 実践的・体験的な学習活動を通して、エネルギー利用に関する基礎的な知識と技術を習得する。
- ② 技術が果たす役割について理解を深め、それらを適切に活用する能力と態度を身に付ける。

☆学習を進めるに当たって

使用 教材	持 ち 物	<p>○教科書：技術・家庭 技術分野(東京書籍)</p> <p>・教科書 ・ファイル</p>
学 習 の 進 め 方	<p><授業></p> <p>○授業に積極的に参加しよう 自分の生活を振り返り、自分のこととして結びつけよう。人の意見を聞いたり教え合ったりすることで、新しいアイデアを手に入れ、実習では生活に役立てられるように基礎的な技術を身に付けよう。</p> <p>○必要な知識は覚えよう 基礎的なことや用語を覚えていないと、説明されても「分からない!」となってしまいます。基本的なことや用語は早く覚えよう。</p> <p>○黒板に書いた内容をしっかり書き留めよう 定期テストは各学期末です。テスト前に学習プリントを見直したとき、意味がしっかりと分かるように、ていねいに書いておこう。</p> <p><家庭学習></p> <p>○実践して生活にいかそう 学んだ知識や技術を自分の生活場面でどんどん活用しよう。そうすることで、知識や技術の定着が図ろう。</p> <p><定期テスト></p> <p>○1学期末・2学期末・卒業の3回。いずれも家庭科と合わせて50分のテストをします。 ○技術科50点、家庭科50点で合わせて100点満点となります。</p>	
学 習 上 の 注 意 等	<p>○授業中の指示をしっかりと聞き、話を聞くとときと作業をするときの切り替えをきちんとしよう。</p> <p>○指示があるまで待ち、勝手に機械や道具を使わないようにしましょう。</p> <p>○扱い方を間違えると危険な機械や道具もあるので、安全に気を付け、いつも真剣に授業に取り組むようにしましょう。</p> <p>○授業で話される内容や気づいたことを自分なりに工夫し、プリントにまとめよう。</p> <p>○友達と助け合い、教えあい、学び合おう。</p>	

☆学習内容および評価について

学 習 計 画				評価にあたって		
学 期	月	単 元 計 画	試 験	評価観点		評価の場面・方法
1	※技術と家庭を隔週で学習します。		期 末	生活や技術への関心・意欲・態度	・エネルギーの利用に関する技術について感心をもち、生活をよりよくするために知識と技術を進んで活用しようとする。	・学習プリントの記入内容 ・授業での発言 ・活動状況の様子 ・忘れ物
	4	○エネルギー変換と利用 ・エネルギー変換について知ろう			生活を工夫し創造する能力	・生活と技術とのかかわりについて見直し、課題を見つけ、その解決のために技術を適切に活用して、工夫し創造することができる。
2	5	・電気を作る仕組みを知ろう	期 末	生活の技能		・エネルギー変換を利用したものづくりに必要な基礎的な技術を身につけ、その技術を安全で適切に活用できる。
	6	・電気を供給する仕組みを知ろう				
	7	・電気回路について考えよう				
		○エネルギー変換を利用した製作品を作ろう ・電子部品の特徴について知ろう				
3	9	・はんだづけの仕方について知ろう	期 末	生活の技能	・生活や産業の中での技術の役割について理解し、エネルギーの利用に必要な基礎的な知識を身に付ける。	・学習プリントの記入内容 ・授業での発言 ・定期テスト
	10	・エネルギー変換を利用した製作品の作成				
	11	・製作品の評価				
	12					
3	1	○電気機器を安全に使用しよう	卒 業	生活や技術についての知識・理解		
	2	・電気による事故を防ぐ方法 ・電気機器の安全な使い方				
	3	まとめ				